

## スポーツ事業

# Sports Business

- 2003年に住友ゴム工業(株)から分社したダンロップスポーツ(株)が中心となり、ゴルフ用品ではクラブやボールなどを、テニス用品ではラケットやボールなどを製造・販売しています。
- 主力のゴルフ用品では、「XXIO(ゼクシオ)」「SRIXON(スリクソン)」「Cleveland Golf(クリーブランドゴルフ)」の三つのブランドでグローバルに展開しています。
- テニスは「DUNLOP(ダンロップ)」「スリクソン」ブランドで製造・販売しているほか、私のバボラVS社と代理店契約を結んでいます。
- ダンロップスポーツ(株)は、東京証券取引所市場第一部に上場しています。



### No.1

2013年メーカー別国内出荷額

- ・ゴルフクラブ
- ・ゴルフボール
- ・硬式テニスラケット
- ・硬式テニスボール

(注)スポーツ産業白書2014年版(矢野経済研究所)の  
2013年見込みシェア



## XXIO

ゴルフ用品の主力ブランド「ゼクシオ」は、日本、韓国、中国、東南アジアなどで多くのゴルファーから支持をいただいています。

世界 **22** カ国  
**361** 名

ダンロップスポーツ(株)  
と用品使用契約を結ぶ  
プロゴルファーの数

(注)2014年4月30日現在



## SRIXON®

プロ・上級者向けとして生まれた「スリクソン」ブランドのゴルフ用品、テニス用品は、国内外のツアープロに愛用され、その勝利に貢献しています。



## Cleveland GOLF

1979年に米国で誕生した「クリーブランドゴルフ」。定評あるウエッジは米国で高いシェアを有しています。



数多くの主要大会で使用されている硬式テニスボール、「ダンロップフォート」(左)と「スリクソン」。

## 2013年12月期の業績

当期のスポーツ事業の売上高は、前期比8.0%増の662億61百万円となりました。営業利益は同10.6%減の39億92百万円となりました。

ゴルフ市場は、国内では好天に恵まれ、ゴルフ場入場者数が前年を上回り、比較的堅調に推移しましたが、海外では世界最大の北米市場において、悪天候の影響でゴルフ場入場者数が減少し、東南アジア諸国でも停滞感が広がるなど、厳しい状況で推移しました。

このようななか、国内においては主力のゴルフクラブ「ゼクシオ セブン」が発売2年目にもかかわらず好評を博し、また12月に発売した「ゼクシオ エイト」も、好調なスタートを切りました。ゴルフボールでは、2月に飛びとスピンコントロール性能を進化させた「スリクソン Z-STAR」の新製品を発売、3月には新開発の革新的な非円形ディンプルにより、まっすぐ力強い高弾道と大きな飛距離を実現する「ゼクシオ XD-AERO (エックスディー エアロ)」を発売するなど、拡販に注力しました。これらの結果、ゴルフクラブ、ゴルフボールともに店頭販売シェアはNo. 1\*となりました。

また、ブランド価値と製品への信頼向上のため、松山英樹選手をはじめとする有力選手と用品使用契約を結びました。ゴルフの日本ツアーでは契約選手の松山英樹選手と森田理香子選手がそれぞれ賞金王、賞金女王となり、ゴルフブランドの認知度向上に貢献しました。

海外においては、アジア地域で「ゼクシオ セブン」を拡販

しました。また、欧米では「クリーブランドゴルフ」のウエッジクラブ新商品や「スリクソン」のゴルフボールを中心に積極的な販売活動を進めました。

\* 矢野経済研究所調べによる金額シェア

## 2014年12月期の見通し

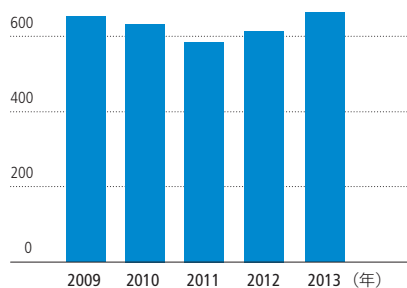
世界経済の先行きが不透明であり、国内経済は緩やかな回復基調で推移しているものの、2014年4月からの消費税増税などによる影響が懸念されます。このような状況のなか、成長のスピードを加速し、ゴルフ用品を中心としたグローバルな事業展開を進めていきます。

当社グループが展開する「ダンロップ」「ゼクシオ」「スリクソン」「クリーブランドゴルフ」などのブランド価値をより一層向上させるため、有力なプロ選手と用品使用契約を締結し、ブランドや商品の認知度と信頼性を高めます。特に重要な米国市場においては、「クリーブランドゴルフ」ブランドのゴルフクラブに加え、「ゼクシオ」ブランドのゴルフクラブも投入し、「スリクソン」ブランドのゴルフボールと合わせて積極的に拡販します。成長が期待できるアジア市場では、「ゼクシオ」ブランドのゴルフクラブを中心に認知度の向上と拡販に取り組めます。商品開発の面では、コンピュータ・シミュレーションを活用した設計技術と、日本と中国のゴルフ科学センターによる解析・評価を中心として、飛距離性能に優れたゴルフクラブやゴルフボールの開発を推進します。また、大学等の研究機関との共同研究による材料開発にも取り組めます。

### 売上高

**663**億円 **+8.0%**  
前期比

(億円)  
800

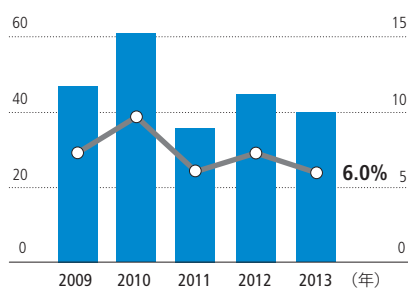


### 営業利益および営業利益率

**40**億円 **-10.6%**  
前期比

(億円)  
80

(%)  
20



■ 営業利益 ○ 営業利益率

### 売上高内訳

(億円)

	2012年	2013年	前期比
クラブ	299	332	+11%
ボール	123	144	+18%
シューズ・アクセサリ他	78	74	-6%
ゴルフ用品	500	550	+10%
テニス用品	65	63	-3%
ライセンス収入	4	4	+6%
スポーツ用品	569	616	+8%
その他	45	47	+3%
合計	613	663	+8%

(注) 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示